

災害に対する家庭での備え

災害に備えて、今から家庭で取り組むことができる対策を紹介します。

1 すぐに持ち出したいものを準備 (非常用持ち出しバック)

(感染症対策)

<input type="checkbox"/> ヘルメット 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> 軍手 	<input type="checkbox"/> 歩きやすい運動靴 	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 非常食品 	<input type="checkbox"/> 飲料水 	<input type="checkbox"/> 貴重品 	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶・ミルク・離乳食(乳児のいる家庭) 	<input type="checkbox"/> 除菌シート・持ち運び消毒液
<input type="checkbox"/> 充電器・予備バッテリー・電池 	<input type="checkbox"/> 持病の薬・処方箋 	<input type="checkbox"/> 救急用品 	<input type="checkbox"/> 洗面用具 	<input type="checkbox"/> ビニール手袋
<input type="checkbox"/> 衣類・下着 	<input type="checkbox"/> 紙おむつ・生理用品 	<input type="checkbox"/> 雨具 	<input type="checkbox"/> 筆記用具 	<input type="checkbox"/> 体温計

2 家に備える備蓄品を準備

災害時にライフラインが止まったら、どんなことで困るのか、何が必要かを考えて、最低でも3日、可能ならば1週間分の備蓄を心がけましょう。

- 食料や水(最低3日分) × 家族の人数分
※保存期間を確認して消費したら補充するローリングストックを意識しましょう。
- 生活用品
※ガスコンロや毛布、トイレトーパーなど

3 家具の置き方を工夫しよう

地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- 家具を壁に固定。
- 寝室や子ども部屋の家具は最小限。置くものも背の低い家具にして、倒れたときに出口をふさがない配置。
- 手の届く所に懐中電灯、スリッパやホイッスルを準備。

お詫びと訂正

広野町防災マップに下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。



13ページの避難ルート・避難先「平田町」正) 平田村

13ページの地図で誤った位置に記載された「**広野IC**」を削除



裏表紙のライフライン関係機関「東北電力(株) 0120-175-336」正) 東北電力(株) 0120-175-366

広野町防災マップを活用しよう

広野町防災マップ

急傾斜地におけるがけ崩れや土石流、地すべりなどのおそれがある土砂災害警戒区域や平成31年3月に福島県で作成した津波浸水想定区域に関する情報など、広野町内で想定される災害に関する情報を掲載し、令和2年3月に作成・全戸配布いたしました。

災害から身を守るためには、日頃から防災の重要性を認識し、一人一人が防災意識を持つことが重要です。災害がいつ起きても対処できるよう、広野町防災マップで町内の危険箇所、災害時の避難所並びに避難経路などの防災情報を確認し、家庭や地域において災害に対する備えを考えましょう。

「広野町防災マップ」はこちらをご覧ください▶



ふたば未来学園の海風寮は折畳式ヘルメットを常備して、年に数回避難訓練をすることで災害に備えています。

住民説明会を開催



6月28日(日)、広野町公民館で広野町防災マップに関する住民説明会を開催しました。説明会では風水害時の避難所における今般の新型コロナウイルス感染症への対応も含め、新型コロナウイルス対応マニュアルを基に説明しました。また、「広野町防災マップ」を防災・減災の行動規範の手順書として活用していただくため、内容を説明し、質疑応答なかで理解を深めました。

防災マップに関すること、ご相談ください!

近くの避難所がわからない、地図の見方がわからない、引越してきたので防災マップがほしい、地区での説明会を開いてほしいなど、お気軽にご相談ください。

環境防災課 消防防災係 ☎0240-27-2114